

## 平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポートうりずん（若夏）

### I 事業の成果・方針

1. 介護サービスの外部評価に関する事業は、認知症対応型共同生活介護事業所（以下グループホーム）を27件、小規模多機能居宅介護事業所を10件で外部評価を実施した。外部評価を受託した全事業所の自己評価及び外部評価結果をワムネットに掲載したが、目標達成計画を掲載していない事業所が6件である。今年度は3名が新規に調査員養成研修を受け、3月の調査から調査員11名の体制で実施した。

5年間継続して外部評価を受けると、保険者や福岡県の判断でその後は2年毎に外部評価を受けることが義務付けられるが、受審回数（年度内か否か等）の基準にばらつきがあり、事業所のなかには戸惑いも見受けられた。また、今年度は家族アンケートに関する問い合わせが多くなり、福岡県介護保険課担当者から当法人の家族アンケート様式の照会を求められたり、事務所に来訪された家族もあった。家族アンケートは福岡県外部評価実施要領に基づく様式で、訪問調査時の資料であることや記載内容を省いた集計表を評価確定後に当該事業所に送付することを、その都度説明し理解や協力をお願いした。

#### <評価審査委員会>

3月に7事業所から訪問調査の依頼があり年度内に開催できず、5月末に開催予定である。

<調査員研修> 評価項目の理解を促進するために実施したが、外部評価調査員及び会員に案内

① 「本人が望む場所での終の棲家を考える」 4月9日14時～

講師：福岡県立大学看護学部教授 尾形由紀子氏

「特別養護老人ホームでの看取りの支援と訪問看護」

講師：宗像医師会訪問看護ステーション 管理者 阿部久美子氏

同日平成22年度外部評価審査委員会を開催したため、評価審査委員（5名）や看取りに直面している会員や経験のある会員も参加した。

② 「お気持ちを聞かせて下さい～認知症と生きる方々の聞き取りから～」 10月1日13時30分

講師：天神オアシスクラブ施設長 中島七海氏

認知症の方々の思いや言葉の聞き取りや記載について学ぶために、調査員・会員、地域介護事業所などにも案内し、会員外では30名が参加した。

③ 「宅老所の仕事『生と死をつなぐケア』」平成24年3月10日 13時30分～

講師：宅老所よりあい 管理者 下村恵美子氏

死を迎えた利用者ご本人を中心として、家族や職員のかかわりを話していただいた。地域の関係者や高校の介護福祉科にも案内し、会員外では43名が参加した。

その他の研修として、福岡県指定研修機関である公益社団法人福岡県介護福祉士会が主催した、スキルアップ研修に全調査員が参加した。また、近畿地区介護支援専門員研究大会やNPO法人地域生活サポートセンター主催の平成23年度サービス評価評価機関学習会等に担当者等が参加し、認知症ケアや今後の外部評価のありかたを学習した。

今後も調査機関として、内外の研修等に参加しながら事業所の自己評価の補完となるべく、さらなる地域密着型サービスの発展に寄与する予定である。

2. 介護保険オンブズパーソン事業について、本年度は実施なし。
3. 介護サービスに関する相談・研修会開催事業は、「介護福祉士国家試験受験支援セミナー」を介護老人保健施設 3 箇所、9 月から 12 月の 6 回、出前講座として実施した。2 箇所の介護老人福祉施設では担当者の要望でオリエンテーションや模擬テストの解説も実施した。講師は会員が担当したが、新カリキュラムでの国家試験でもあり、出題傾向の把握が困難であったが、各施設担当者から約半数が合格したとの報告があった。そして 2 施設から次年度も出前講座の依頼を受けた。
4. 介護サービスに関する調査研究事業は、「介護サービス情報の公表」の調査を平成 24 年 2 月まで調査員 22 名で、全種類の 616 事業所で実施した。昨年度より 115 件増えたが、調査終了後署名捺印を拒否され、公表センターに他調査機関での再調査をお願いした事業所や、保険者による指導と調査が同日になり、後日調査に伺った事業所もあった。本年度も星野村をはじめ県南や県東南、糸島、福岡市内など広範な地域で実施した。

福岡県指定研修機関である福岡県社会福祉協議会が主催したフォローアップ研修には全調査員が参加した。本年度も調査項目の均一化を図るためにサービスごとのチェックシートを活用したり、5 回開催した調査員連絡会等で情報を共有しながら調査を実施した。

訪問した調査員に、「請求明細の確認が昨度は 1 か月分で良かった」との苦情や疑問が多数あり、また平成 24 年度からの公表調査制度の動向について聞かれることも多かった。調査終了後記載ミスや記載漏れなどに気付き、当該事業所に訂正や調査票差し替え等の了承を得た件数が 31 件あった。

3 月の調査機関情報交換会では、介護サービス情報の公表制度の改正で調査機関による調査は本年度で終了するが、平成 24 年 5 月末まで調査機関の指定期間があることが周知された。保存を義務づけられている書面は県からの通達に沿って、整理予定である。
5. 介護予防に関する講習事業は、本年度は実施していない
6. 介護予防に関する調査研究事業は、平成 23 年度老人保健事業推進費等補助金をうけ、介護予防事業の推進に関する調査研究事業を実施した。顧問である産業医科大学公衆衛生学教室の松田晋哉教授等が分析主体となり、平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金で開発した生活総合支援調査プログラムをシステム化し、マニュアルを作成した。協力自治体関係者や地域包括支援センター等に配付したが、このシステムの活用が地域包括ケアの推進に貢献できることを期待したい。
7. 保健や福祉及び介護情報や知識に関する出版物の発行事業については、ホームページの随時更新をしている。研修予定や活動報告等を掲載した「うりずん通信」を 1 回発行し、当法人の活動等について記載した。
8. 男女共同参画社会促進に関する相談・講習事業は、前年度より引き続き直方市男女共同参画推進支援室の利用団体に加入し、地域で活躍するグループとの交流を図った。
9. 子どもの健全育成に関する相談・支援事業は、本年度は実施なし。

## II 事業実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額千円
介護サービス外部評価に関する事業	地域密着型サービス外部評価事業	平成23年4月～平成24年3月	福岡県	11人	地域密着型サービス事業所37ヶ所	3,048
介護保険オンブズパーソン事業	介護サービスに関する相談及び権利擁護	実施なし				0
介護サービスに関する相談・研修会開催事業	「介護福祉士国家試験受験支援セミナー」 全国統一模擬試験 応用編・実力偏	平成23年9月～平成24年1月	宮若市 小竹町 飯塚市	4人	介護老人福祉施設、グループホーム、医療法人職員42名	362
介護サービスに関する調査研究事業	「介護サービス情報の公表」調査事業	平成23年8月～平成24年2月	福岡県全域	22人	介護サービス事業所616カ所	11,029
介護予防に関する講習事業	認知症予防・介護予防講座	実施なし				
介護予防に関する調査研究事業	介護予防事業の推進に関する調査研究事業	平成23年6月～平成24年3月	福岡県	8人	福岡県内地域包括支援センター等	4,772
保健や福祉及び介護情報や知識に関する出版物の発行事業	①「うりずん通信」の発行 ②ホームページの更新	年1回 随時		3人	①会員と一般に発行	0
男女共同参画社会促進に関する相談・講習事業	男女共同参画社会促進に関する講習会	実施なし				
子どもの健全育成に関する相談・支援	子育て支援に関する講座	実施なし				